

機密文書の安全な公開を実現する電子文書 ライフサイクルマネジメントソリューション

森口 修* 木村俊之**
高木彰子* 石川智子**
花崎芳彦**

Lifecycle Management Solution for Confidential Electronic Documents

Osamu Moriguchi, Akiko Takagi, Yoshihiko Hanazaki, Toshiyuki Kimura, Tomoko Ishikawa

要 旨

2005年に施行された個人情報保護法を契機として、企業では電子化した機密文書に対する情報漏洩(ろうえい)防止対策を実施しているが、情報を“外部に漏らさなければよい”という一点に集中してきた感がある。

しかし、近年の企業ではアライアンスやオフショア開発が進み、機密情報をパートナー企業や外部委託先と共有することが必要不可欠となっており、機密性を維持したまま外部との共有による情報活用を実現するセキュリティソリューションが望まれている。

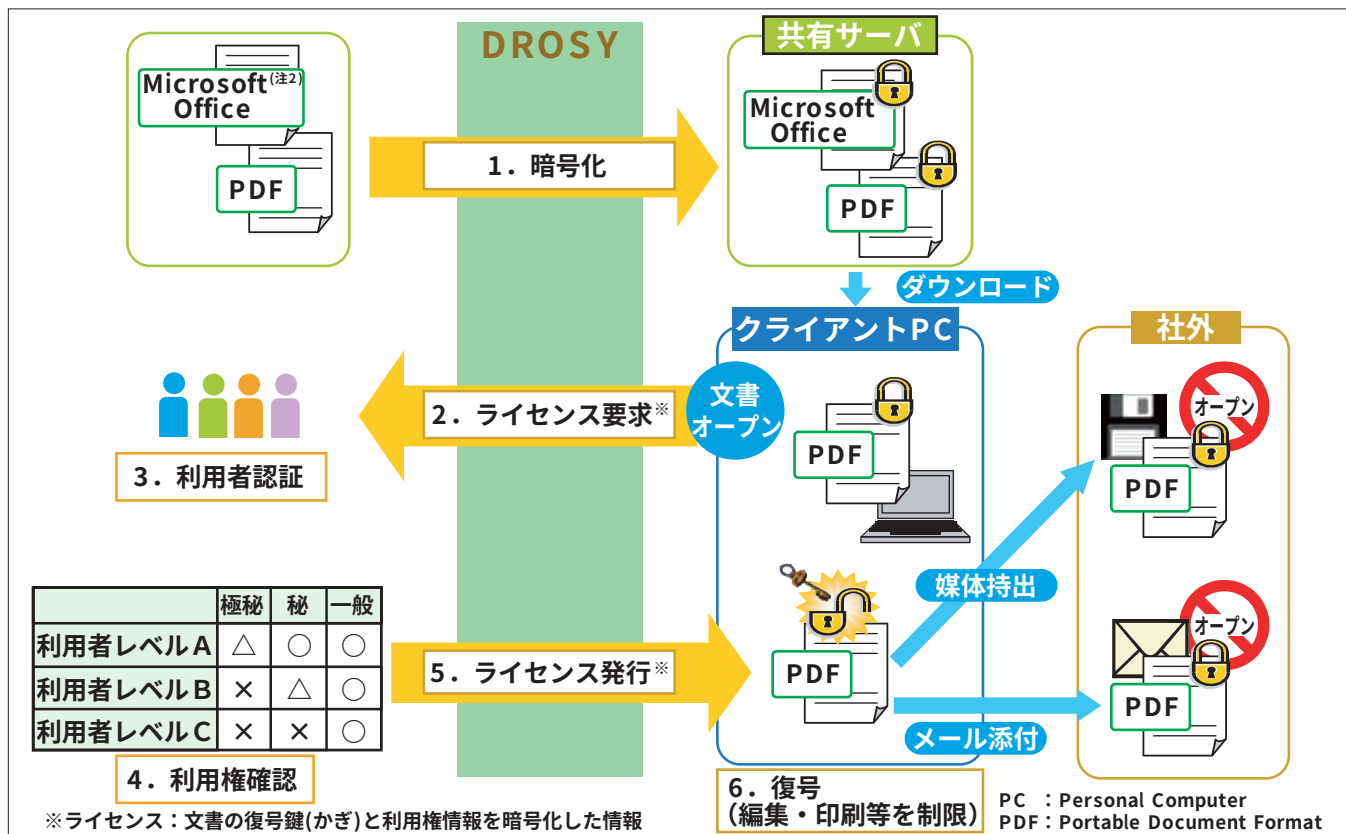
このような背景から、三菱電機インフォメーションシステムズ㈱(MDIS)では、トータルセキュリティソリューション⁽¹⁾の一環として、機密文書のライフサイクル全体にわたるセキュリティ管理を実現するDROSY^(注1)を開発した。

DROSYは、機密文書の暗号・復号機能、利用者認証機能及び利用者と機密文書の組合せに応じた利用ルール管理機能から構成されており、機密文書に対して、利用者ごとに、編集・印刷・コピー・保存・変更・削除などの利用権限をきめ細かく設定できる。今回、既存システムとの連携機能や実運用を考慮した利用権設定機能などを新たに開発し、セキュリティ管理のための作業負担を軽減した。

企業における機密文書の快適・安心な共有・公開などによる情報活用を促進することで、更なる企業の発展に寄与していきたいと考えている。

(注1) DROSYは、三菱電機インフォメーションシステムズ㈱の登録商標である。

(注2) Microsoftは、米国Microsoft Corp.の米国及びその他の国における登録商標である。



DROSYの機能概要

DROSYは、デジタル著作権管理DRM (Digital Rights Management) 技術をベースとし、機密情報を“利用させたい人だけに”許可した機能範囲内で“安全・快適に情報を共有・公開する”ための機密情報の利用権管理を実現する。DROSYでは、暗号化した機密情報を復号する際にライセンス要求と発行の手続きを不可欠とし、かつ、ライセンスをサーバ上で一元管理するので、社外に持ち出された機密情報もセキュリティ管理下に置かれる。